



学校法人国学院大学の公式ホームページでは、傘下各校の行事や取り組み等を公開しています。左記の二次元コードからぜひご覧ください。

学報 News CATY

2025年5月

第163号

発行/国学院大学
北海道短期大学部
北海道上野町3-1-1
TEL.0125-23-4111 FAX.0125-23-5590
広報委員長 菅原 健太

自分の人生を切り拓く 第一歩を滝川キャンパスで

国学院大学北海道短期大学部 学長 平野 泰樹



昨年のわが国の出生数は、過去最
少の72万988人(日本人は68万5
千人)となり、社会に大きな衝撃を
与えました。この未曾有の少子化に
基づいて編成されています。
基礎に編成されています。
教育・人材育成については、道内
における人材育成はほんの一角に
過ぎない。国学院大学は3年次編入
する多くの学生のために、各学部
の基礎科目を学べるカリキュラム
を編成し、さらに国学院大学の教
育も直接受けられる質の高い教
育を実施しています。また、他大
への編入学にも対応しています。



ウェルカムパーティー

「滝川のおやじとおふくろ」が歓迎
4月10日、令和7年度第44回
入学式を挙げて、国文学科84
名、総合教養学科113名、幼
児・児童教育学科39名(幼児保
育コース17名・児童教育コー
ス22名)と、定員(235名)を
超える236名の学生が入
学しました。本年度の入学式は「滝
川のおやじとおふくろ」とし
て、北海道内出身者は70名で30
%、滝川市内高校出身者は14名を
含む、中堅管内では32名、
北海道外出身者(最遠地は大分
県)は16名で70%でした。ま
まさまざまなサポートをしてく
ださっています。

新入生が未来へ力強く抱負



い、憧れていた教員免
許取得の道を選びまし
た。厳しい道であるこ
とは承知の上です。履
修力アップを分かつ
たことは、法学部編入
学と教職課程履修の両
立は前例がなく、双方
の履修必須の授業がい
り、憧れていた教員免
許取得の道を選びまし
た。厳しい道であるこ
とは承知の上です。履
修力アップを分かつ
たことは、法学部編入
学と教職課程履修の両
立は前例がなく、双方
の履修必須の授業がい



温かい保育 士が目標

幼い頃、毎日みんな
に笑顔で迎えてくれた
先生に憧れ、保育士を
目指しました。そして
大学での学びは、保
育の専門知識はもちろん
子どもたちの発達や心
理、保護者支援など
幅広い知識を身に付け
たいです。将来、温かい
笑顔で子どもたちと触
れ合える保育士になり
たいです。保育士は、こ
どもたちの成長を促す
ための知識と技術を身
につけていきたいと思
っています。

新学科長「ともに学ぶ喜びを」



幼児・児童教育学科長 教授 今野 道裕

本年度、幼児・児童
教育学科長を務めるこ
とになりました。今野道
裕です。正直、前任校
での経験を生かし、
本学の果たす役割に責
任を感じています。こ
れからは、一人ひとりの
成長を応援し、共に学
ぶ喜びを分かち合いた
いと思います。



先生方の力 を借り成長

私が国学院大学を志
すようになったきっかけ
は、高校時代に親し
くして読んだ2人の
日本人の先生が、い
ずれも国学院大学文
学部史学科の出身だ
と知りました。深い知
識に裏付けられた情熱
な語り、多様な歴史
的解釈を与えてくれる
授業を受けて、私も同
じ大学で歴史を学ぶこ
とを決意しました。一
度は受験に失敗しまし
たが、編入学という別
の手段によって国学院
の学生になる意志を堅
めて、国学院短大に
進学しました。



国文学科教授 若松 広美

言葉の担い手を 育む国語科教育を

国文学科 教職課程
担当の専任教員として
勤務しております。若松
広美と申します。
これまで学校現場に
おきまして、国語科教
育を軸に児童生徒の学
ぶ力の育成をはじめ、
教育課程の編成の手引
力をもつていきます。



幼児・児童教育学科教授 橋本 展晴

学生の豊かな学びを 支えていきたい

今年度から幼児・児
童教育学科児童教育コ
ースの教員として勤務
しております。橋本展晴
と申します。
これまで公立中学校
と教育行政機関に勤務
し、教員時代は教科指
導や学級経営、生徒会
の指導や部活動指導に
没頭する日々を過ごし
ました。

新任教員紹介

ありす祭

6月14日(土)10時~16時
模擬店、軽音ライブ10時30分~、裏千家茶道部茶会11
時~、ダンス14時45分~、花火大会20時~
(開催予定: 演劇公演)
6月15日(日)10時~16時
模擬店、幼児・保育コース「あそびの縁日」、FM-CATY公
開放送、滝川市立図書館古本市10時30分~、ふわふわトラ
ンポリン11時~、滝川西高等学校吹奏楽部14時~、子育て
サロンありす10時~15時、ピンゴ大会

仲間との絆を深めた2日間

4月12日と13日の2泊2日で、総合教養学科と幼児・児童教育学
科 幼児保育コースの1年生が、新富良野プリンスホテルで研修を
行いました。



幼児保育コース「宿泊研修」

研修では、「表現」を学ぶことや自然に関心を高めることを目的とし
て、白石英孝教授による「パードコール」作りや、秋元彩佳准教授によ
る国学院大学の校歌練習では、発声法や歌う楽しさを学びました。田中
一徳教授は、仲間づくりやリーダーシップスキルの向上を目指す「チー
ムビルディングプログラム」を行いました。
また、草薙恵美子教授は1年生の8月から始まる保育実習に向けての
心構えとして、「2年間の実習概要と実習の意義」について講義を
行いました。
入学して間もない宿
泊研修は、不安もあつ
たと思いますが、研修
を通して、コース全体
の絆が深まり、協力を
して学ぶことの大切さ
を実感する機会になり
ました。
写真は、チームビル
ディングのアクティビ
ティ「パイプライ
ン」。メンバー全員で
パイプを使って小さな
ホールをゴールまで運
びます。楽しみながら
チーム力の向上など重
要なスキルが身に付き
ます。